

新ごみ処理施設(熱回収施設)建設候補地の説明会質問等要旨

- 日 時 平成25年9月14日(土) 午前9時5分～午前10時5分(1時間)
- 場 所 江南市民体育会館 大会議室
- 出席者 区長・町総代110名(欠席者(資料を送付した方)21名)
- 江南市 市長、副市長、教育長、生活産業部長、広域ごみ処理施設建設対策室長始め5名

質 問 ・ 意 見 等	回 答
<p>新ごみ処理施設から焼却灰は出ないのか。また、最終処分場の計画はないのか。</p>	<p>炉の形式や焼却灰、最終処分場などの問題については、まだ検討に入っていない。</p> <p>現在、江南市中般若町北浦地内を新ごみ処理施設の建設候補地として、地元説明を行っているが、地元から同意を得た後に施設整備検討委員会を立ち上げ、地元の皆様にも参加いただく中で、炉の形式や焼却灰、最終処分場などの問題について検討していくことになる。</p> <p>なお、現在の大口町にある焼却場からは焼却灰が発生するが、焼却灰を出さない熔融炉という方式もある。</p>
<p>大口町にある焼却場には十数回行ったことがある。30年ほど前は焼却場から悪臭が出ていたが、改良され、最近はあまり臭いが感じられない。さらに、他の所にある最新のごみ処理施設では、まったく臭いがしない。「百聞は一見にしかず」ではないが、最新の施設を実際に見ることが一番である。</p> <p>ごみの焼却から出る余熱を、浴場やハウス栽培に利用することなどについては、これから検討するという話があったが、ごみ処理施設の検討と同時並行的に検討すべきではないか。長期的な展望に立ち、地元あるいは江南市全体が利益を享受できるような内容、ビジョンを示してほしい。</p>	<p>余熱利用については、地元同意の取得後に立ち上げる施設整備検討委員会でしっかりと検討していくことになる。</p>

質 問 ・ 意 見 等	回 答
<p>地元説明会の参加人数が1回目と2回目を比較すると、すべての区で減っている。また、施設見学会を8回開催して、延べ117名の参加では非常に少ない。</p> <p>アンケート結果で、「最新のごみ処理施設を見学し、72%の方がイメージが良くなったと感じている」ことなどからも、もっと多くの住民に参加していただく必要があると思う。</p>	<p>地元説明会の開催に当たって、多くの住民の方に参加していただくために、回覧板と併行して、地元の全世帯にチラシを配付して周知を図っている。2回目の参加人数が減ったことについては、ある程度皆様にご理解がいただいた結果であるとも考えている。</p> <p>施設見学会についても、同様に回覧板と併行して、地元の全世帯にチラシを配付した。</p> <p>結果的に応募がなく、この表には掲載していないが、地元説明会でいただいた「土日に施設見学会を実施してほしい」という要望にお応えするため、お盆期間中も施設見学会を計画した。</p> <p>今後もお地元の区長さんとも相談しながら、なるべく多くの方にご参加がいただけるよう努力する。</p>
<p>「ごみ処理施設はどこかに造らなければならないが、自分のところは困る。」というのが皆さんの本音だと思う。地元の方が実際どのように思って、どういうことを心配して、どんな意見が出ているのか説明してほしい。</p> <p>候補地が犬山市から江南市に移った経緯も説明してほしい。</p>	<p>地元説明会では、煙突から出る煙で洗濯物に臭いが付くのではないかとといった質問、ダイオキシン類の排出やパッカー車の走行を不安視する意見などが出たが、煙突から出る煙は主に水蒸気で臭いがなく、ダイオキシン類は国の排出基準値よりも厳しい自主規制値を設けて、その範囲内で稼動すること、パッカー車の洗車を徹底させることなどを説明した。</p> <p>次に、候補地が江南市に来た経緯については、江南の候補地では、地元の皆様に対して、説明会や施設見学会などが行われているが、犬山の候補地では、平成22年9月12日に地元説明会が開かれただけで、地元住民との意見交換が、公式にはそれ以降1回も開けなかった。</p>

質 問 ・ 意 見 等	回 答
	<p>犬山の候補地が行き詰った原因は、犬山市池野地区の神尾から第1小ブロック会議の足並みの乱れなどを理由に凍結宣言がされたことだけではない。</p> <p>犬山の候補地の地元は池野地区の5町内会という定義付けがあったが、そのうちの1つがこの神尾であり、その神尾とのやりとりの中で凍結宣言が出されたが、残りの4町内会とは、区長や役員と最後まで公式に話ができない状況であった。</p> <p>そのような状況を受け、唯一の地権者から、「地元の同意を得られないのであれば、土地を提供できない。」という話もされた。</p> <p>このように、犬山の候補地で進められる要素がない状況を受け、平成24年10月2日に江南市長が候補地の受入表明をし、本年2月に江南の候補地で地元同意を得るための活動が第1小ブロック会議で了承されたものである。</p> <p>言い換えれば、犬山の候補地では進展する要素がないとの判断があったからこそ、江南の候補地で進めることになったと言える。</p> <p>したがって、江南市が手を挙げた以上、良い施設を造っていくために、引き続き皆様方のご理解をお願いしていきたい。</p>
<p>今日の質疑応答を皆さんに公開していただきたい。</p>	<p>広報こうなんや市のホームページに要旨の形で掲載することを検討する。</p>